

令和 1（2019）年さけます来遊状況（第 3 報：10/31 現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 来遊数は 109 万尾 [前年同期比：16%、平年*1 同期比：14%]
- 来遊数は平成以降（1989 年以降）で最も少なくなることが確実
- 全道で 1 億 2,777 万粒の種卵を確保

*1：平年とは、平成元（1989）～平成 30（2018）年の平均値

（北海道）

10 月 31 日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 109 万尾 [前年同期比：16%、平年同期比：14%] となっています。

カラフトマスの沿岸漁獲と河川捕獲は 10 月ではほぼ終漁となるため、本年の来遊数は、平成以降（1989 年以降）で最も少なくなることが確実な状況となっています（表 1 および図 1）。

来遊年	10/31現在	最終	来遊年	10/31現在	最終
2006(H18)	559	559	2007(H19)	1,491	1,491
2008(H20)	704	704	2009(H21)	1,111	1,111
2010(H22)	731	731	2011(H23)	553	553
2012(H24)	221	221	2013(H25)	325	325
2014(H26)	158	158	2015(H27)	210	210
2016(H28)	890	890	2017(H29)	123	123
2018(H30)	683	683	2019(R1)	109	-
			平年	804	804

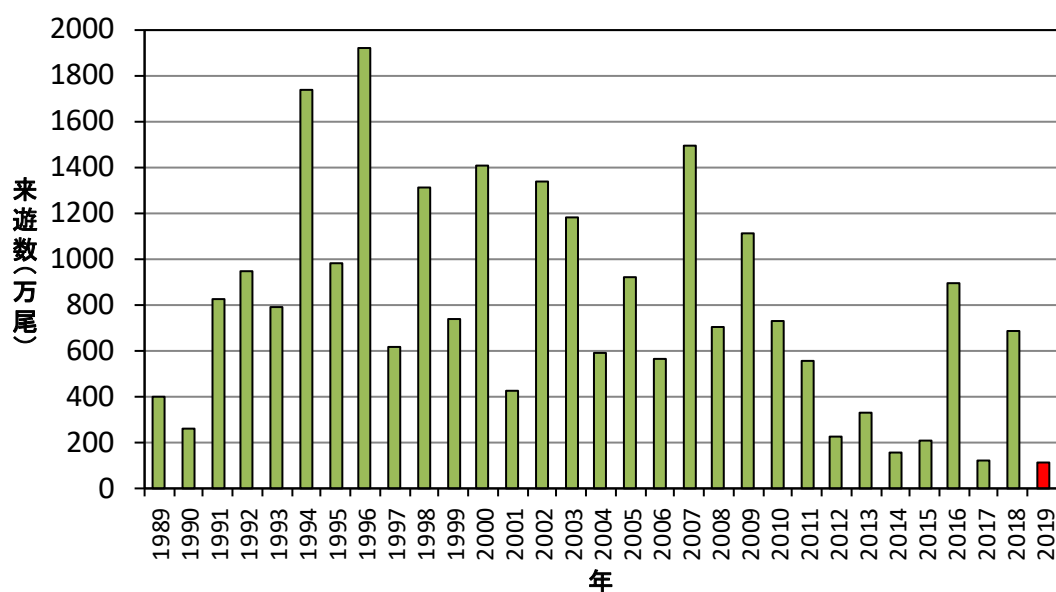


図 1. 7 月 1 日～10 月 31 日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2019 年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では104万尾〔前年同期比：16%、平年同期比15%〕、太平洋側（根室～えりも以西海区）では5万尾〔前年同期比：13%、平年同期比4%〕と、両地域ともに前年及び平年を大きく下回っています。

カラフトマスの河川捕獲数は、10月末時点で22万尾〔前年同期比：24%、平年同期比：26%〕と前年及び平年を大きく下回っており、平成以降（1989年以降）で2番目に少なくなっています（表2）。採卵数は、1億2,777万粒と前年同期の86%を確保しました。この採卵数は、全道の採卵計画数1億7,310万粒の74%にあたり、地域別にみると日本海側で前年同期100%に対し、太平洋側では前年同期4%に留まっています。

本年の北海道のカラフトマスの捕獲採卵は10月で終了となっており、11月以降は沿岸でわずかに漁獲されるのみとなります。

捕獲年	10/31現在	最終	捕獲年	10/31現在	最終
2006(H18)	94	94	2007(H19)	144	144
2008(H20)	92	92	2009(H21)	131	131
2010(H22)	87	87	2011(H23)	59	59
2012(H24)	26	26	2013(H25)	48	48
2014(H26)	26	26	2015(H27)	24	24
2016(H28)	76	76	2017(H29)	18	18
2018(H30)	92	92	2019(R1)	22	22
			平年	85	85